

サービス見込量の進捗管理のための作業シート【多可町】

計画値：令和6年度、実績値：令和7年3月末

ステップ1：認定率の比較

(%)

	計画値	実績値	差異	対計画比	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率	19.7%	18.6%	1.1%	94.5%	認定者数は、コロナの影響があった令和2年からは小幅に増減してはいるものの、やや減少傾向であった。今回第9期の計画値との初比較となるが、6年度の実績値としては計画値を下回っている。

ステップ2：受給率の比較

(%)

サービス名		計画値	実績値	差異	対計画比	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	1.4%	1.3%	0.2%	88.1%	
	訪問入浴介護	0.0%	0.0%	0.0%	72.4%	利用者の分母が少ないサービス。R5(30人)→R6(26人)大きな乖離ではない。
	訪問看護	1.7%	1.6%	0.1%	92.5%	
	訪問リハビリテーション	0.2%	0.3%	0.0%	105.9%	
	居宅療養管理指導	0.5%	0.5%	0.0%	98.3%	
	通所介護	4.4%	4.2%	0.2%	96.1%	
	通所リハビリテーション	3.6%	3.5%	0.0%	98.7%	
	短期入所生活介護	1.9%	1.8%	0.1%	94.1%	
	短期入所療養介護（老健）	0.2%	0.2%	0.0%	94.0%	
	短期入所療養介護（病院等）	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	短期入所療養介護（介護医療院）	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	福祉用具貸与	7.9%	7.6%	0.3%	96.0%	
	特定施設入居者生活介護	0.6%	0.6%	0.0%	97.3%	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0.1%	0.0%	0.1%	7.5%	サービス提供事業所が想定どおり開設されず、町外のサービス付き高齢者向け住宅に居住されている方の市町間同意による利用のみにとどまっている。
	夜間対応型訪問介護	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	認知症対応型通所介護	0.3%	0.3%	-0.1%	119.2%	コロナの影響により令和3～5年度にかけては利用者が減少していたが、6年度には徐々に増加傾向になっている。一方で9期での計画値を減数見直ししているため、率が増加している。来年度以降も要注視。
	小規模多機能居宅介護	0.7%	0.5%	0.2%	71.8%	R5年9月に町内事業所（1カ所）休止となっている影響で利用者減。
	認知症対応型共同生活介護	0.7%	0.7%	0.0%	95.5%	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	地域密着型介護老人福祉施設	0.3%	0.3%	0.0%	99.1%	
	看護小規模多機能型居宅介護	0.0%	0.0%	0.0%	—	
施設サービス	地域密着型通所介護	0.7%	0.5%	0.2%	73.2%	コロナ収束以後利用者が増えていたが、令和6年度は利用者が減っている。（R5（543人）→R6（438人））9期にて計画値の増数見直しをしている分、率が低下している。来年度以降も要注視。
	介護老人福祉施設	3.0%	2.7%	0.3%	90.6%	
	介護老人保健施設	0.6%	0.6%	0.1%	91.2%	
	介護医療院	0.6%	0.5%	0.2%	74.5%	令和3年度に多可赤十字老人保健施設の一部が介護医療院に転換され、9期にて計画値の増数見直しをしているが、利用者数自体は昨年度より減っている。他市町からの利用者が増えた可能性も考えられる。
介護予防支援・居宅介護支援		11.3%	10.8%	0.5%	95.5%	

ステップ３：受給者1人あたり給付費の比較

(円)

サービス名		計画値	実績値	差異	対計画比	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	52,100	47,641	4,458	91.4%	
	訪問入浴介護	65,472	52,059	13,413	79.5%	利用者の分母が少ないサービス。大きな乖離ではない。
	訪問看護	34,651	35,447	-796	102.3%	
	訪問リハビリテーション	31,583	29,949	1,634	94.8%	
	居宅療養管理指導	11,430	10,735	695	93.9%	
	通所介護	77,632	78,718	-1,086	101.4%	
	通所リハビリテーション	47,354	49,621	-2,267	104.8%	
	短期入所生活介護	119,069	132,129	-13,060	111.0%	9期にて計画値の減数見直しをしている。大きく乖離している訳ではないが、来年度以降も要注視。
	短期入所療養介護（老健）	113,917	105,973	7,944	93.0%	
	短期入所療養介護（病院等）	—	—	—	—	
	短期入所療養介護（介護医療院）	—	—	—	—	
	福祉用具貸与	10,870	11,247	-377	103.5%	
	特定施設入居者生活介護	159,470	161,287	-1,817	101.1%	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	191,675	164,792	26,883	86.0%	
	夜間対応型訪問介護	—	—	—	—	
	認知症対応型通所介護	95,114	96,980	-1,866	102.0%	
	小規模多機能居宅介護	180,528	180,803	-275	100.2%	
	認知症対応型共同生活介護	270,790	272,365	-1,575	100.6%	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	
	地域密着型介護老人福祉施設	328,492	321,791	6,700	98.0%	
	看護小規模多機能型居宅介護	—	—	—	—	
	地域密着型通所介護	118,870	121,796	-2,926	102.5%	
施設サービス	介護老人福祉施設	263,981	270,841	-6,860	102.6%	
	介護老人保健施設	273,917	279,310	-5,393	102.0%	
	介護医療院	304,652	338,012	-33,360	111.0%	令和3年度に多可赤十字老人保健施設の一部分が介護医療院に転換され、9期にて計画値の減数見直しをしている。大きく乖離している訳ではないが、来年度以降も要注視。
	介護療養型医療施設	0	0	0	—	
介護予防支援・居宅介護支援		13,548	13,516	32	99.8%	

ステップ４：サービス提供体制に関する現状と課題

令和6年度実績より第9期介護保険事業計画の計画値との比較になったが、概ね計画値通りの推移となっている。受給率において地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、介護医療院については、計画値と実績値の間に差異が生じていることから、来年度以降の動向も注視し、乖離が続けば必要に応じて計画値の見直しを行う必要がある。

小規模多機能居宅介護については、町内1施設が令和5年9月に休止されているが、再開を目指されている旨聞き取りをしているので、直ちに定員減計画値の見直しを検討する必要はないものと考ええる。

定期巡回・随時対応型について、指定事業者の公募をかけながらも令和6年度の参入がなかった。訪問介護員の確保が難しいことや、要介護3以上になるとロングショートを利用するケースが多いなど定期巡回サービスの需要が不透明なことも原因と思われる。しかしながら定期巡回サービスは在宅を支援するサービスとして必要であり、今後も設営費用の公的補助も呼びかけながら公募を行う予定。